

## 第4回 余市町都市再生協議会 議事録

開催日時： 令和5年2月14日（火）午前10時30分から  
開催場所： 余市町役場 301・302会議室  
出席者： 岸 邦宏（会長：北海道大学 公共政策大学院 教授）（リモート参加）  
小田 寛（副会長：余市商工会議所 副会頭）  
内海 幸夫（北海道中央バス株式会社 余市営業所 所長）  
森田 尚洋（国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部 地域振興対策室長）  
高木 弘章（北海道後志総合振興局 地域政策課長）  
新開 孝一（北海道後志総合振興局 新幹線推進室長）  
椋平 剛史（北海道後志総合振興局 小樽建設管理部 地域調整課長）  
舟倉 勝巳（余市消防署 署長）  
佐々木 隆行（余市警察署 地域課長）  
平田 進（余市町区会連合会 副連合会長）  
彫谷 泰嗣（一般社団法人 余市観光協会 副会長）  
川村 憲吾（一般公募）  
欠席者： 横浜 博（小樽つばめ交通株式会社 余市支店 支店長）  
小嶋 研一（一般社団法人 余市医師会 会長）  
北島 正樹（余市町PTA連合会 会長）  
千葉 一仁（一般公募）  
オブザーバー： 九筈 英司（国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部）  
事務局： 千葉建設水道部長、庄木まちづくり計画課長、阿部企画政策課長  
まちづくり計画課本間主幹、松尾主幹、大隅主事  
オブザーバー(町)： 農林水産課小林主幹、子育て健康推進課鈴木主幹、企画政策課半田係長  
委託事業先： シン技術コンサル 加藤

### 1. 開会 (事務局)

### 2. 会長挨拶 (会長挨拶)

### 3. 審議事項

#### ○ 余市町都市計画マスタープラン【全体構想】【資料1】

(事務局)

〈資料1について説明〉

(会長) ただいまの説明に対して、質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(委員) 3ページ、将来都市構造のゾーンのところで、茶色い枠内でいきますと、都市計画区域内の土地利用のうち、それを市街地ゾーンと農村ゾーンに設定しますよという書きぶりなのです

けれども、6ページ目の構造図のポンチ絵のイメージで行きますと、この市街地ゾーンと農村ゾーンが黄土色となっていると思うのですが、黄土色の部分は都市計というよりも農業振興地域のような気がするのです。都市計画内の市街地ゾーンのところを区分するという事なのか、農村ゾーンと市街地ゾーンというのを分けるよ、という意味であれば、「都市計画区域内」という表現はどうかかなと思って、その辺、ちょっと教えてください。

(事務局) ご案内の通り、都市計画マスタープランにつきましては、都市計画区域内の計画となっております。その中で6ページの、今、おっしゃられました黄土色の部分、そちらについては、一部、農地の部分がございます。これは用途の絡みですとか、そういう部分がございますので、都市計画区域内という事に縛った形で市街地ゾーンという区別をしているところでございますので、ご理解いただきたいと思えます。

(会長) 確認なのですが、6ページの将来都市構想図というのがありますよね。その部分の市街地ゾーンと農村ゾーンというところの色分けの、特にこの農村ゾーンの境界線というのが都市計画区域に一致していますか？一致していれば、私は説明に問題はないかなと思って話を聞いていたのですが。

(事務局) こちらにつきましては、合っているのかという部分、率直にお答えしますと合っております。この黄土色以外のピンクですとか、その辺の部分については、用途地域の部分の着色でございますので、図面としては問題ないと解釈しています。

(会長) すると、地区区分というピンク色の点線が邪魔してしまっていて、都市計画区域がちょっと見づらいというのが私の印象です。6ページの都市計画区域の中で市街地ゾーンと農村ゾーンに分かれていれば、今の質問に対しては、先ほどの説明でいうと矛盾は無いかなと私の中では理解していたのですが、どうですかね。

要するに、都市計画区域というのは余市町全域ではないということですよ。その都市計画区域の中で、市街地ゾーンと農村ゾーンに分けたということだから、農村のところは全部含まれているかというのと、そうではなく、あくまでも都市計画区域の中での農村に含まれている。農村というか、市街地ゾーン以外のところを農村ゾーンというふうに位置づけたというふうな理解かなというふうに受け止めておりますが。その解釈で、事務局さん良いですよ。

(事務局) 左下の凡例の部分で都市計画区域という部分、黒の1点鎖線で、それで地区区分のピンク、こちらがラップしているので恐らくちょっと見えづらいのかなというふうに考えているところがございますので、こちらにつきましては誰が見ても分かりやすいような形で図面の方を修正させていただきたいと考えております。

(委員) 4ページに都市軸の区分ということで三つ書かれているのですけれども、後ろの分野別方針の方には観光交流軸というのがある。四つが横並びなのであれば、ここに説明書きがあった方が分かりやすいかなと思っております。考え方としては、今、観光交流軸になっているところが、そもそも生活軸と農村交流軸にも位置づけられていて、その上で観光交流軸としてもあるという考え方もあるのかなと思うので、検討いただければ良いかなと思っております。もう一点が、6ページの図のところには、中心核というのが書いてあるのですよね。核と拠点。核についても解説がないので、「ここは、まさに町の中心だ」という何かしらの説明書きがあった方が分かりやすいかなというふうに思いました。以上です。

(事務局) 4ページの都市地区の区分、こちらご提言がありました通り、観光軸については追記する形

を取らせていただきたいと考えております。6ページの構造図につきましては、先ほども都市計画区域と地域区分の関係で分かりやすくという部分の回答をさせていただいたところでございますが、併せて、こちらのピンクの着色部分の核となる部分、こちらの説明も親切丁寧にすることが好ましいと考えておりますので、そちらについては修正させていただきたいと考えております。

(会長) 特に他にご質問、ご意見なければ、余市町都市計画マスタープランにおける全体構想等については、今、意見いただいたことを修正するというこの上で、このような形で進めていくということによろしいでしょうか。

今後、修正の可能性はまだあるかもしれませんが、ひとまず年度内の議論としては、このような形で進めるということで皆さんからお認めいただいたということで進めさせていただきます。

#### ○ 余市町立地適正化計画【基本方針】【資料2】

(事務局)

〈資料2について説明〉

(会長) ただいまの説明に対して、質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。

質問・ご意見等がなければ、立地適正化計画における基本方針などということで、ここまでの議論については、このような形で進めるということによろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) では、皆さんからご承認いただいたということで、この先、進めて行きたいと考えております。

(事務局) 都市計画マスタープランの全体構想につきまして、ご意見・ご提言いただいたところでありそちらにつきましては、いただいたご意見等を踏まえまして、事務局の方で会長の方と出来上がったものを調整させていただきたいと考えております。その後、会長から了承いただければ、本日の会議の資料の差し替えという形で各委員にお配りしたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

なお、本会議でご承認いただきました都市計画マスタープランの全体構想、立地適正化計画基本方針においては、年度内に本町の都市計画に関する諮問機関である余市町都市計画審議会に、これまでの会議の経過等を含めまして、ご報告をさせていただきます。

#### 4. その他

(事務局) 事務局より、3点ほどお知らせ。

1点目、令和5年2月21日(火)の午後6時半より、都市計画マスタープラン立地適正化計画における住民説明会の開催を予定。

2点目、令和5年度(第5回以降)の開催について。

3点目、人事異動および推薦団体からの委員の変更等についてあれば、事務局の方に一報いただきたい。

#### 5. 閉会